

「大阪都」構想 住民投票

国民投票の「予行演習ですよ」橋下氏



橋下大阪市長

橋下・維新の会が狙う「大阪都」構想。大阪市をなくし、住民サービスを切り捨て、「一人の指揮官」のやりたい放題—という大問題です。構想は大阪府・市議会の反対で窮地に陥っていましたが、公明党が「鶴の一声」で「住民投票までは認める」と急転換し、5月に住民投票が行われることになりました。

その背景には安倍政権の「憲法改悪」戦略に、橋下市長らを利用する狙いが…。首相は改憲のためには「維新の会」が頼りだと語ると、橋下市長は「憲法改正はすごいこと。なんでも協力する」「住民投票は(改憲の)国民投票の予行演習だ」と語ります。

「大阪都」の先には「改憲」が待ち構えています。



安倍首相

安倍・橋下「改憲タッグ」

折り目

安倍氏「維新の取り組みに敬意」

集団的自衛権行使容認に反対です 日本共産党

内閣総理大臣 安倍晋三殿 **【要望事項】** 一、集団的自衛権行使容認の「閣議決定」を撤回すること
 一、集団的自衛権行使のための立法措置をおこなわないこと。

氏名	住所

取扱団体●日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所 〒540-0004 大阪市中央区玉造2-15-7 USビル2F

【お願い】 この署名は、日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所 Fax 06-6764-9115にお送り下さい。

戦後70年

再び日本を戦争する国にさせません



戦争か平和か — 第2次世界大戦が終わって70年の節目に、日本の針路が問われています。



「集団的自衛権」の具体化ストップ

アフガン、イラクのようなアメリカの戦争で、自衛隊が「戦闘地域」まで行く。攻撃されたら「武器をつかう」。米軍と自衛隊が肩をならべて戦争する — これが「集団的自衛権」の正体です。日本を守ることで、国民を守ることもありません。

安保法制のゴリ押しねらう

その具体化をはかる法案を、国会でゴリ押ししようとする安倍政権。日本共産党は、日本を海外で戦争するたくらみを許しません。平和を愛する国民のみなさんとの共同をひろげ、憲法9条をまもりぬきます。



憲法9条まもる国民の共同を

近畿民報

2015年2月 No.4 (第187号) 発行/日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所

〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目15番7号USビル2F
 Tel.06(6764)9111 Fax.06(6764)9115
 Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を發表しました。